

雁木とは積雪時に通路を確保するため、家屋の一部やひさしを連続的に張り出したもの。雁木は、私有地を提供して雪に埋もれる道を協力して確保しようという、雪国の生活の知恵であり助け合いの象徴といえます。

雁木は雪国高田の代名詞にもなっており、地域において歴史的資産として認識されています。豪雪地高田の風土と雁木は切っても切れない関係であり、降雪時のみならず日常の重要な生活通路として住民に広く利用されています。現在でも約14kmという日本一の総延長を残している事実は雁木が地域に根付いていることの証拠ともいえます。

また、雁木通りにおいてお祭りイベントである時代まつりを開催したり、角巻（昔の防寒着）を身につけ雁木通りを練り歩くあわゆき道中などのあらたな活動も生まれており、雁木の魅力を高めています。

「雁木シンポジウム」の開催は、まったく官が開催に関与していない、雁木をもつ地域住民による開催であり、社会資本としての雁木が地域の住民に親しまれ、積極的に維持、活用し、個性的で魅力的な地域を作り上げていくという表れといえます。



雁木を活かした総合学習（角巻姿で雁木通りを歩く子供達）



雁木通りを活かしたイベント（雁木通り時代祭り）



地域住民主催の雁木を活かしたまちづくりシンポジウム

- ①新潟県上越市高田地区
- ②JR高田駅から徒歩15分圏内
- ④2月 あわゆき道中 4月～11月 第2、4日曜日 町家見学会
10月 城下町・高田花ロード
- ⑤地域住民：花壇、プランターの設置、清掃活動
- ⑥上越市 企画・地域振興部 企画政策課 歴史・景観まちづくり推進室
電話番号 025-526-5111

